



名称	彫金 唐獅子図手板
よみがな	ちょうきん からじしずしゅはん
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	工芸品
所在地	幸崎町能地
所有者	三原市
員数	1 枚
指定年月日	平成 7 年(1995)3 月 30 日
材質	銅製
法量	36. 4cm×54. 6cm
時代	昭和 19 年(1944)
公開状況	事前に連絡必要
交通案内	JR 安芸幸崎駅から西へ約 500m

【解説】

清水南山(亀蔵・1875～1948)は、三原市幸崎町に生まれ、日本の彫金界の第一人者として、大正から昭和にかけて活躍した偉大な芸術家です。

この手板は、南山の晩年の作品で、唐獅子が疾走しているさまを、片切彫と毛彫で彫刻してあります。作品の右下に「幸崎国民学校講堂落成記念 昭和十九年夏 南山鑄」と刻銘されています。